



大内中だより

# さつきの丘

【学校教育目標】  
「あいさつ日本一を目指して」

令和5年6月15日 第11号

## 大内中学校区「小中合同会議」を開催しました

6月12日(月)の午後に、大内中、大内小、岩谷小の3校をオンラインで結び、生徒会や児童会などの代表児童生徒による小中合同会議を開催しました。これまでの「あいさつ運動の実施」に加えて、「アルミ缶回収への小学生の任意参加」、「アウトメディアの取組(※)」を行うことになりました。いずれも、地域への貢献や、基本的な生活習慣を見直し改善を図る取組となります。また、これらの活動については、ご家庭や地域の方々のご協力が不可欠です。活動の詳細が決まり次第、おたより等でお知らせします。



※アウトメディアとは…

「テレビ・DVD・パソコン・タブレット・携帯電話・スマホ・ゲームなどのメディアに触れないで過ごす」という意味があります。テレビやゲームなどを排除するものではなく、利用時間を減らし、自分自身の時間・家族での団らんなど、人と人とのつながりの時間を大切にしようとするものです。また、自分の生活習慣・学習習慣を見つめ直し、基本的な生活習慣の改善を図るものです。

## やる気満ち、闘志みなぎる！ ～ 6/14 地区総体壮行会 ～

### 校長激励の言葉(抜粋)

学校報「さつきの丘」の9号で「人はなぜスポーツをするのか」、10号で「心の準備と判断力を生かした戦いを」という内容を皆さんにお伝えしてきました。

スポーツは、「遊び」という本質を持っています。競技に対して、真剣であればあるほど、楽しくなるものです。ほどよい緊張感の中で、試合を楽しむ自分になりましょう。

特に3年生の皆さんは、自分が競技を始めた、あるいは続けているきっかけや理由を振り返るとともに、関わってくれた多くの人への感謝を胸に、試合に臨んでください。そして、自分自身のため、チームのために全力を尽くすとともに、仲間と認め合い励まし合った一体感や充実感を、この地区総体を通じて存分に味わってほしいと思います。

ここで皆さんに、学校報に掲載しなかったお願いがあります。

それは、大内中の長所である「あいさつ」について、地区総体の各会場で、日頃の成果を是非見せてください。

会場でのあいさつ、試合前後のあいさつ等は、地区No.1のレベルで取り組みましょう。

「おはようございます」「お願いします」「ありがとうございました」など、相手チームも含め、試合ができる感謝の気持ちを会場にいる全ての人に伝えましょう。

また、大内中のチーム(ベンチや観客席も含めてです)が、一体となって試合に臨みましょう。各選手の一挙手一投足に合わせて、「ナイスプレー!」「いけ、いけ」「さあー!」「ドンマイ」「切り替えよう」など、「声の圧力で選手の背中を押す」応援をしましょう。



フレーフレー大中、ファイトファイト大中! 各部の健闘を祈ります!